



代表質問とは？

毎年2月定例会に行われる、次年度の市長施政方針※の内容に対して、議会各会派から選ばれた議員1人が代表して質疑を行うことです。富士宮市議会令和7年2月定例会では、5つの会派と、無会派（無会派議員3人を1つの会派とみなします）から合計6人の議員が、各々の会派等を代表して質疑しました。

- ※1 施政方針…次年度（今回の場合は、令和7年度）の基本方針や政策についての姿勢を示すため、市の長として行う方針演説のことです。今回の施政方針内容は、右の二次元バーコードから確認できます。



こうめいかい
公明会
さの とし お
佐野 寿夫

恵み豊かな未来づくりについて

問 サンタモニカ市との50周年記念事業について伺う。

部長 ラナ市長をはじめ行政訪問団14人と学生39人と引率5人を4月11日から迎える。50周年記念レセプションを開催し、外神東公園内に屋外時計を設置する。さらなる次の100周年に向けた一歩としていく。

誰もが輝く未来づくりについて

問 富士山SDGs人材マッチングサイトについて伺う。

部長 地域の眠っている労働力と地域の事業者のニーズを結びつけるプラットフォームとし、加えて、障がい者やひきこもりの人なども希望する働き方を見つけやすくし、後押しするような仕組みにもしていきたいと考える。

めい わ
明和
さの かず や
佐野 和也

観光誘致活動について

問 宿泊事業者に対する誘致の内容について。

部長 宿泊施設の市場動向や競合動向などを分析し調査する「本市への宿泊施設の需給状況の見通し調査」や「宿泊施設へのアプローチ方法の戦略方針の作成」また公有地、民有地を含め市内で今後の宿泊施設の立地の可能性につながるかを判断するための「市内の未利用地などの整理」可能性が見込まれる国内外のホテル事業者を整理し働きかけを行う「宿泊施設出店の可能性がある事業者の調査選定」などを行っている。今後の宿泊施設誘致の方向性として、中心市街地エリアには広めの客室を持ち、宿泊単価が高い「アップパービジネスホテル」、北部エリアには周辺の観光地も満喫できる「ライフスタイルホテル」の誘致を進めていく。